

高知県スポーツ振興の強化ポイント

施策の柱①

スポーツ参加の拡大

- (1) **新たなスポーツ推進体制による持続可能な地域スポーツの推進**
 ○スポーツ機会の拡充に向けた地域スポーツの拠点づくり
 ・地域のニーズに応じたスポーツ機会の拡充（地域スポーツハブの拡充）
 ・特別支援学校等と連携とした障害者スポーツの推進
- (2) **ライフステージに応じたスポーツ活動の推進**
 ○スポーツを「知る」「始める」機会の拡充
 ・情報発信の強化
 ・気軽にスポーツに親しむ機会の拡充
拡 ジュニア選手育成【再掲】
 ・スポーツを知る・出会う機会の拡充【発掘】
 ・地域の実情に応じた子どものスポーツ環境の充実【育成・強化】
- (3) **障害者のスポーツ参加機会の拡充**
拡 障害者スポーツの充実
 ・障害者スポーツの活動支援
 ・障害者が参加しやすい環境づくり
 ・スポーツ情報の活用
 ・障害者スポーツの理解啓発の推進
- (4) **中山間地域におけるスポーツ活動の充実**
 ○スポーツ機会の拡充に向けた地域スポーツの拠点づくり【再掲】
- (5) **多様なスポーツ機会の提供**
 ○スポーツ機会の拡充に向けた地域スポーツの拠点づくり【再掲】
- (6) **スポーツを通じた健康増進**
 ○スポーツを通じた健康増進
 （健康づくりの県民運動「ヘルシー・高知家・プロジェクト」 / 高知家健康パスポート事業）
- (7) **スポーツに親しむ場の確保**
 ○スポーツ施設等の充実に向けた取組の支援（高知県スポーツ推進交付金）【再掲】

施策の柱②

競技力の向上

- (1) **新たなスポーツ推進体制による戦略的な競技力強化**
 ○さらなる競技力向上に向けた強化
 ・競技団体の実情に応じた効果的な強化
 ・全高知チームによる重点強化
 ・選手強化におけるPDCAの徹底
- (2) **系統立てた育成・強化体制の確立**
拡 ジュニア選手育成
 ・スポーツを知る・出会う機会の拡充【発掘】
 ・地域の実情に応じた子どものスポーツ環境の充実【育成・強化】
- (3) **指導者等の育成及び受け入れの推進**
拡 ジュニアに関わるスポーツ指導者の拡大及び指導力向上
 ・ジュニアに関わるスポーツ指導者の拡大・指導力向上
 ・ITを活用した研修機会の拡充（トレーニング、コンディショニング指導 等）
- (4) **スポーツ医学の効果的な活用**
 ○高知県スポーツ科学センター（SSC）によるスポーツ医学サポートの強化
- (5) **スポーツ施設・設備の整備**
 ○スポーツ施設等の充実に向けた取組の支援（高知県スポーツ推進交付金）

施策の柱③

スポーツを通じた活力ある県づくり

- (1) **スポーツを通じた経済・地域の活性化**
 ○スポーツツーリズムによる交流人口の拡大

3本の柱に横断的に関わる施策の方向性

オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツの振興

スポーツ機会の拡充に向けた地域スポーツの拠点づくり

目的

○地域の実情やスポーツに関するニーズを踏まえたスポーツ機会の拡充に向けて、地域スポーツハブの拡充や地域の課題等に応じた取り組みの促進、特別支援学校等と連携した障害者スポーツの取り組みを着実に進めるため、地域のスポーツ推進の核となる拠点やネットワークづくりを行う。

現状

○成人の週1回以上のスポーツ実施率は4割程度にとどまっている。
 ○性別や年代などによる様々な課題や地域住民の多様なニーズがあるが、それらに応じた対応が十分にとられていない。
 ○障害のある方が、身近な地域で気軽にスポーツ活動を行うための環境が整っていない。
 ○地域のスポーツ環境や活動を充実させるためには、単一の団体や組織の取り組みだけでは限界があり、地域の実情に応じて多様な関係者が連携する体制の構築が必要。

1. 地域のニーズに応じたスポーツ機会の拡充

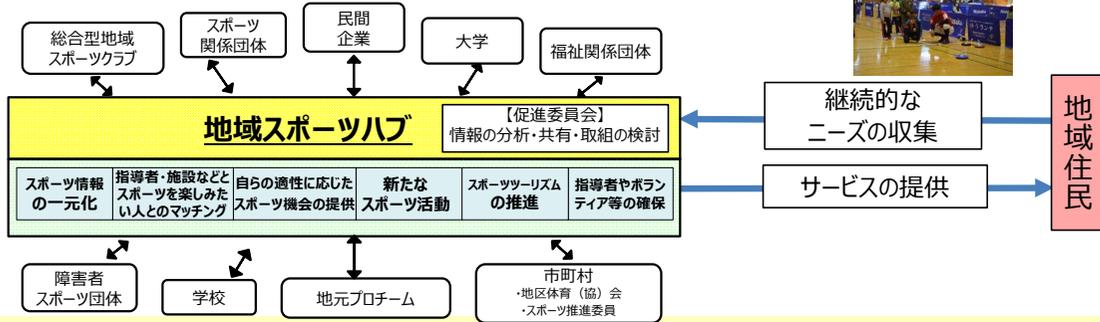
地域スポーツハブ

■概要

総合型地域スポーツクラブ等が核となり、住民の多様なニーズ等に対応するため、多分野の関係者が連携してスポーツサービスを提供する取り組みを支援する。

■内容

市町村の多分野の関係者で構成する「促進委員会」で、スポーツに関するニーズ等を継続的に把握・分析し、スポーツサービスを提供する。



2. 特別支援学校等と連携とした障害者スポーツの推進

障害者スポーツ推進プロジェクト（スポーツ庁委託事業）

■概要

特別支援学校やスポーツ団体等と連携して、障害者スポーツ情報の効果的な収集・発信・共有体制を構築するとともに、特別支援学校を中心に多様な関係者が連携して、在校生や卒業生、地域住民など誰もが参加できるスポーツ機会を提供する。

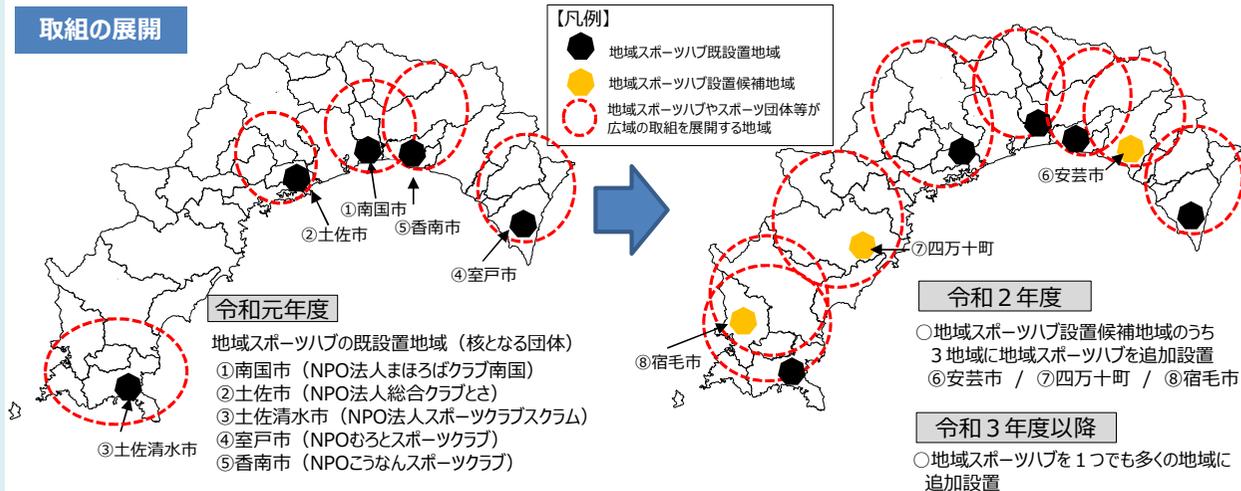
■内容

- (1) 特別支援学校を通じたスポーツ情報の収集・発信
- (2) 特別支援学校と連携したスポーツ機会の提供
 - ① 学校施設を活用した、在校生や卒業生、保護者、地域住民などが気軽に参加できるスポーツ活動の実施
 - ② 地域で活動するスポーツクラブや団体等と連携した、障害者も健常者も一緒に行うことのできるスポーツ活動の実施

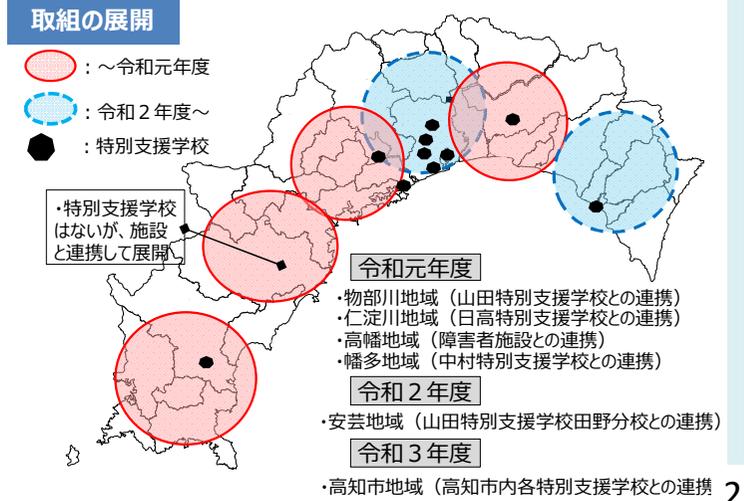
■連携団体

- ・県障がい者スポーツ指導者協議会
- ・総合型地域スポーツクラブ
- ・県スポーツ推進委員連絡協議会
- ・県レクリエーション協会 等

取組の展開



取組の展開



趣旨・目的

○スポーツ参加の拡大を図ることは、**県民の健康増進**に留まらず、競技の普及による**競技力の向上**、地域活力の創出による**地域・経済の活性化**など、「第2期高知県スポーツ推進計画」で掲げる**様々な施策への波及効果**があり、**好循環をもたらす**。

○「第2期高知県スポーツ推進計画」では、**成人の週1回以上のスポーツ実施率を65%以上**とする目標を掲げている。障害の有無に関わらず**県民誰もが、スポーツに親しむことのできる機会を提供**するため、**スポーツを「知る」「始める」機会の拡充を図り、スポーツの実施を促していく**必要がある。

現状

○成人の週1回以上のスポーツ実施率：44.3%（65%以上）
 ○運動やスポーツを行っているがもっと行いたいと思う人の割合：25.2%（35%以上）
 ○運動やスポーツに関心の無い人の割合：13.3%（6%以下）
 平成28年度 県民の健康・スポーツに関する意識調査 ※（ ）2022年度末の目標値

課題

○働き盛りの年代や子育て世代のスポーツ実施率が他の年代に比べ低い。
 ○スポーツ参加機運を醸成する取組が不十分。
 ○スポーツを行っていない層へのアプローチが不十分。
 ○県内のあらゆるスポーツ情報を集約し発信する媒体がない。

対応策 スポーツを「知る」「始める」機会の拡充

「知る」機会の拡充

情報発信の強化

●**県民スポーツ月間によるスポーツ機運の醸成**
 10月の「県民スポーツ月間」に、スポーツイベント・教室など、気軽にスポーツに親しむことのできるスポーツ関連情報の発信を強化し、スポーツ機運の醸成を図る。
 ・チラシ、ポスターによるPR

●**インターネット等を活用した情報発信の強化**
 ・「こうちスポーツNAVI」による情報発信の強化
 ⇒高知県内のスポーツイベントや大会、クラブ・サークルの活動、スポーツ施設、ボランティア募集などの情報発信の強化
 ・SNS等を活用した情報発信
 ⇒県スポーツ課Instagram、フェイスブック等による情報発信

●**2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を契機とした機運醸成**

・2020年オリンピック・パラリンピック東京大会事前合宿の招致
 ・東京2020オリンピック聖火リレーの実施
 ・東京2020パラリンピック聖火リレーの実施
 ・パブリックビューイングの実施



「始める」機会の拡充

気軽にスポーツに親しむ機会の充実

●**体験型イベント（スポーツJAMフェスタ）の開催**
 ⇒子どもから高齢者まで障害の有無に関わらず誰もが参加しやすいスポーツ体験イベントを開催し、スポーツを「始める」きっかけを創出する。
 【開催内容（案）】
 ・オリンピック等によるボールを使った親子で楽しめるスポーツ体験イベント / ・走り方、投げ方、跳び方教室
 ・各種競技団体が実施する体験会 / ・レクリエーション種目体験会 / ・ニュースポーツ 等
 ・健常者と障害者の一体型スポーツ大会（※）（スポーツJAMフェスタ等）

（※）年齢や性別、障害の有無に関わらず誰もがスポーツの楽しさを感じながら、体を動かすことのできるユニバーサルスポーツ大会



●**スポーツ機会の拡充に向けた地域スポーツの拠点づくり**

- ①**地域のニーズに応じたスポーツ機会の拡充**
 ⇒地域スポーツハブ等による地域のニーズに応じたスポーツ機会を拡充する。
- ②**特別支援学校等と連携した障害者スポーツの推進**
 ⇒特別支援学校を中心に多様な関係者が連携して、誰もが参加可能なスポーツ機会を提供する。

●**企業合同交流運動会の開催（高知県企業スポーツ推進協議会事業）**

⇒県内企業が参加する運動会を開催する。



●**スポーツ推進委員によるスポーツ体験会（ニュースポーツ等）の開催（高知県スポーツ推進委員連絡協議会事業）**

⇒スポーツ推進委員研修会の充実を図り、スポーツ推進委員によるスポーツ機会を拡充する。
 ⇒「食」等の地域イベントで地区別のスポーツ体験会を開催する。

「知る」・「始める」機会を拡充させ
 スポーツ実施率の向上を目指す。

拡 障害者スポーツの充実に向けた取り組み

現状

- 障害者のスポーツ活動を支援する制度が十分整っていない。
- スポーツ活動を行う障害者を増やすためには、安心して活動できる場の紹介や個々の実情に応じたサポートが必要。
- 障害者のスポーツ活動を支援する組織や機能が十分でない。
- 障害者スポーツを理解啓発する取り組みが十分でない。
- 障害当事者及び関係者に対してスポーツの情報が十分に届いていない。

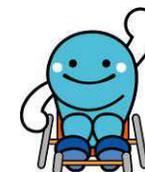
課題

- 競技志向の高い取り組みを支援する仕組みや体制の構築。
- 障害者のスポーツ機会の提供。
- 各地域において、障害者スポーツをコーディネートする人材の協力が必要。
- 障害者スポーツの理解啓発及び情報発信の強化。

取り組みの概要

目的

高知県社会福祉協議会をはじめ、市町村やスポーツ団体、学校、福祉関係者など、**障害者スポーツの関係者が連携する仕組みづくりやスポーツ機会の拡充**を図ることにより、障害者が**身近な地域で安心してスポーツに参加できる環境を創出**する。また、障害者スポーツの理解啓発を進め、**障害の有無に関わらず誰もが一緒にスポーツを楽しむことができる環境づくり**につなげる。



取組内容

障害者スポーツの競技力向上や裾野の拡大を図るため、国際大会や全国大会の入賞を目指す競技性の高い取り組みや障害者スポーツの普及に資する取り組みを支援する。

○競技性の高い取り組みの支援

- ・競技性の高い全国大会以上の競技大会で入賞を目指す選手や競技力向上を目指して中央競技団体に登録した選手が競技レベルを高めるために行う強化練習などを支援



○障害者スポーツの普及に資する取り組みの支援

- ・障害者スポーツを普及するため、競技団体や既存のクラブチームなどが新たに行う体験イベントや大会などを支援

障害者のスポーツ活動の場を拡充し、スポーツ参加の拡大につなげるため、関係機関や地域スポーツクラブなどと連携し、障害者が身近な地域で様々なスポーツに参加しやすい環境づくりを行う。



○既存の活動への支援

- ・県が配置するコーディネーターによる、障害者をサポートができる人材の掘り起こしやネットワークの構築
- ・スポーツ活動を行う場の確保、活動のPR、等

○新たなスポーツ環境づくり

- ・既存のチームや団体の活動を県内の他の地域に普及するための支援

○ユニバーサルスポーツイベントの開催 (スポーツJAMフェスタ等)

- ・年齢や性別、障害の有無に関わらず、誰もが一緒にスポーツを楽しむことができるスポーツイベントの開催

○障害当事者とスポーツ活動とのマッチング

- ・障害当事者に対する既存のスポーツ活動の紹介や情報提供

① 障害者スポーツの活動支援

② 障害者が参加しやすい環境づくり

障害者スポーツの充実

③ スポーツ情報の活用の充実

④ 障害者スポーツの理解啓発の推進

障害者のスポーツ参加の拡大を図るため、障害当事者をはじめ、関係者が必要なスポーツの各種情報の収集、発信、共有を行う。

- スポーツ教室やイベント、大会情報の発信
- スポーツ大会の結果の収集・発信、メディアへの情報提供
- 既存のチームや団体の活動の紹介
- 指導者やスポーツ医科学に関する情報の提供 など



地域のスポーツ活動における障害者の受け入れ拡大や、障害者のスポーツへの関心を高めるため、スポーツ団体や学校、企業などの幅広い関係者に対して、障害者スポーツの理解啓発を図る研修会やセミナーを行う。

○学校教育における理解啓発 (県教育委員会と連携)

○地域における理解啓発

主な対象

障害当事者、保護者、学校職員、競技団体関係者、総合型地域スポーツクラブ関係者、スポーツ推進委員、地区体育(協)会関係者、企業・事業所関係者、福祉施設関係者、障害者施設関係者、など

さらなる競技力向上に向けた強化

目的 各競技団体ごとに課題を捉えた効果的な強化を徹底するとともに、国民体育大会入賞や日本代表選手の輩出が特に期待される「全高知チーム」のさらなる強化や、スポーツ医科学面からの質の高いサポートを行い、本県の競技力を着実に引き上げる。

現状 ・各競技団体において、トップ選手をさらに引き上げる体制が十分でなく、より質の高い指導が必要。
 ・国民体育大会において、安定して上位をねらうことができる力が足りない競技団体が多く、入賞を収める競技団体が固定化されている。
 ・スポーツ医科学面から選手や指導者をサポートする体制が十分でなく、競技団体がスポーツ医科学を十分に活用できていない。

取り組み

競技団体の実情に応じた効果的な強化

■ 基礎強化

国民体育大会正式競技（41競技）における基本的な強化

■ 重点強化

① 特別強化コーチ派遣（全高知チーム）
 国民体育大会入賞や日本代表選手の輩出が特に期待される競技に対して、特別強化コーチを派遣するなど「全高知チーム」による重点強化を行う

② ジュニア強化
 競技力向上に向けて、特にジュニア層の普及・育成が必要な競技団体が行う取り組み

③ 女子選手強化
 競技力向上に向けて、特に女子選手のレベルアップが必要な競技団体が行う強化

④ 高校生強化
 競技力向上に向けて、特に高校生のレベルアップが必要な競技団体が行う強化 ※強豪校の招聘等

⑤ アドバイザー招聘
 優秀なコーチを招聘し高度な技術・戦術・トレーニング方法の指導に加え、組織マネジメントやネットワーク構築、情報の活用など、総合的な指導助言を行う

⑥ 特別強化選手支援
 優秀な競技成績を収めている選手を特別強化選手に指定し、日本代表選手等を目指して、さらなるレベルアップを図る取り組みを支援

全高知チームによる重点強化

【全高知チーム】

競技ごとに、県内の小学生から一般までの有望選手を強化選手に指定し、年間を通して定期的に質の高い強化練習を行うチーム

■ 全高知チームの拡充

既存の全高知チーム（12競技）
 ①ソフトボール ②レスリング ③剣道 ④カヌー
 ⑤サッカー ⑥ラグビー ⑦水泳（飛込）⑧陸上
 ⑨卓球 ⑩柔道 ⑪バドミントン ⑫ライフル射撃

14競技に拡充
 ⑬バスケットボール ⑭ソフトテニス

■ 特別強化コーチによる指導・監修の徹底

・特別強化コーチの指導による強化練習を徹底
 ・特別強化コーチの監修による強化計画の定期的な見直しを徹底

■ 県外遠征等の質の高い練習の増加

国民体育大会までの段階的な目標を達成するため、県外遠征等の質の高い練習を増加

■ 県内指導者の指導力向上

全高知チームの活動を通じた県内指導者の実践研修の充実



（全高知チームの活動の様子）

スポーツ医科学の活用

■ 高知県スポーツ科学センター（SSC）によるスポーツ医科学面からのサポート

・スポーツ医科学の見地から様々なサポートの充実

- 【サポート内容】
- ①メディカルチェック
 - ②専門体力測定
 - ③コンディショニングサポート
 - ④栄養サポート
 - ⑤メンタルサポート
 - ⑥動作分析
 - ⑦ゲーム分析



選手強化におけるPDCAの徹底

■ 計画的な強化の実施

- ・国民体育大会に向けた段階的な目標の明確化
- ・目標達成に向けた対策の着実な実行
- ・段階的な目標達成状況に応じた計画の見直し
- ・各競技団体内での強化計画の共有

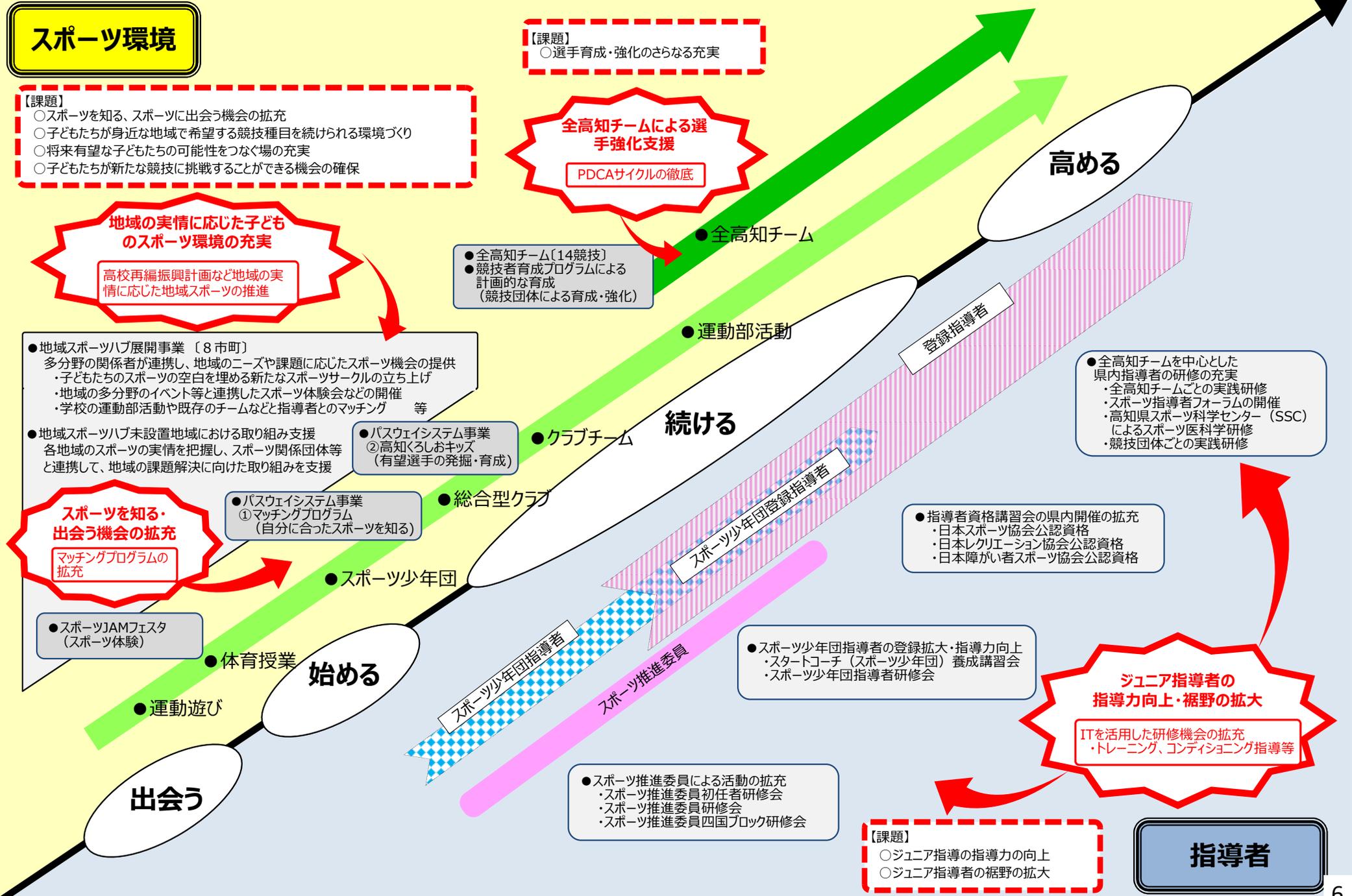
スポーツ施設・設備の整備

■ 計画的な整備の実施

- ・競技拠点施設等の整備
- ・新たなスポーツ施設整備の検討
- ・高知県スポーツ推進交付金の活用

【拡】ジュニア選手育成の全体像

目的 子どもたちが、できるだけ早い段階でスポーツに出会い、身近な地域でやりたいスポーツを切れ目無く続けられるスポーツ環境を整える。また、子どもたちがトップアスリートを目指して、質の高い指導を継続して受けられるよう、ジュニアに関わるスポーツ指導者の指導力向上や裾野の拡大に取り組む。

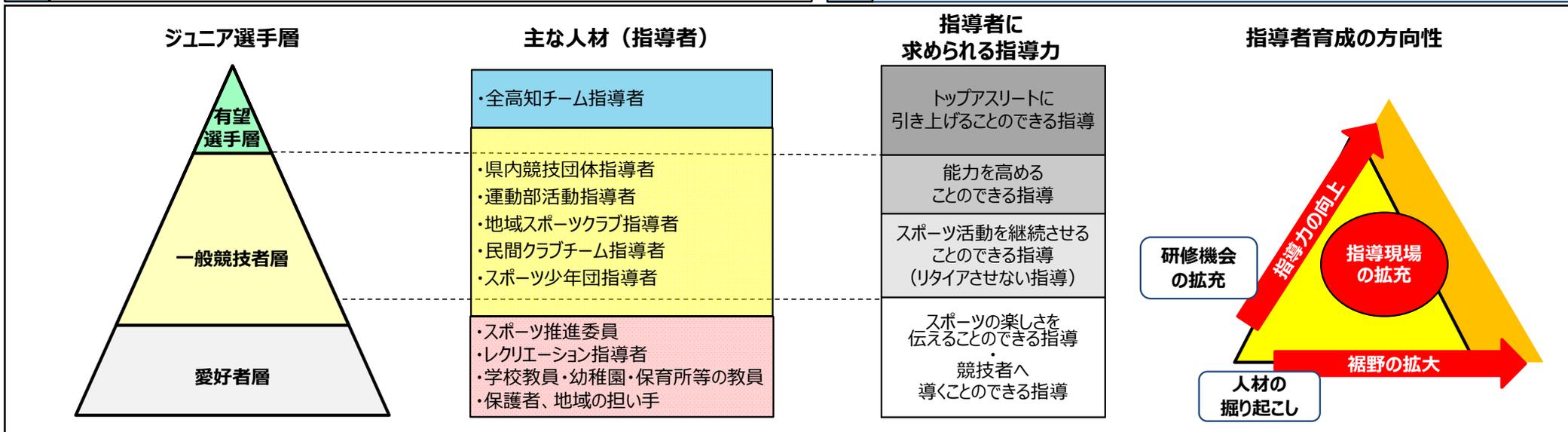


現状

- 指導者には、選手の年齢・発達段階・技術の習熟度等を踏まえた柔軟な指導力や科学的・合理的な指導力などが求められる。
- 地域によっては優秀な指導実績を有する指導者がいないため、十分な育成・強化が図られていない。
- スポーツ少年団や民間クラブチームでは、中心的に指導する有資格者（県スポーツ協会への登録者など）のほか、資格を持たない地域の人材や保護者（未登録者）がサポート的に指導に関わっている。

課題

- スポーツを始める時期に携わる指導者の指導力を高めることが必要。
- 地域によっては指導者不足によりスポーツ活動が限定的になっており、地域でスポーツを支える人材（特にジュニア層）の確保・育成が必要。
- 県内で公認指導者資格が取得できる講習会は限定されるため、県外の講習会に参加する必要があり、経費等の負担増等から、有資格者の増加につなげにくい。



主な取組

①スポーツ少年団指導者の登録拡大・指導力向上及びスポーツ推進委員による活動の拡充 【県・県スポーツ協会・県スポーツ推進委員連絡協議会】

スポーツ少年団指導者の登録拡大・指導力向上

- 指導力向上に向けた参加の拡充・登録者増に向けた啓発
 - ・各種会議等の機会を捉えた啓発
 - ＊登録市町村説明会・事務担当者会の開催
- スポーツ少年団の指導者向け研修会等の開催
 - ・スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会【県内3地域4回開催】
 - ・スポーツ少年団指導者研修会

スポーツ推進委員の活動の充実

- スポーツ推進委員の研修会の開催
 - ・スポーツ推進委員初任者研修会
 - ・スポーツ推進委員研修会
 - ・スポーツ推進委員四国ブロック研修会

②指導者資格取得講習会の県内開催の拡充 【競技団体・県・講習会主催団体】

県内で開催する指導者資格取得講習会の充実

- 公認スポーツ指導者資格講習会の開催
 - ・日本スポーツ協会公認資格
 - ・日本レクリエーション協会公認資格
 - ・日本障がい者スポーツ協会公認資格

指導者資格取得講習会の県内開催の拡大

- 公認スポーツ指導者資格講習会の県内開催増に向けた関係団体との調整
 - ・県内開催の促進に向けた関係団体との調整
 - ・講習会実施に向け、開催に関する条件や周知の確認

③全高知チームを中心とした県内指導者の研修の充実 【県・県スポーツ協会・県スポーツ振興財団】

全高知チーム

- 全高知チームごとの実践研修の実施
 - ・ジュニア指導に携わる指導者を対象とした実践研修
- スポーツ指導者フォーラムの開催
 - ・全高知チームのトップコーチ等を中心に競技団体の垣根を越えた指導者研修会の開催
- 競技団体ごとの実践研修の実施（※全高知チーム以外）
 - ・アドバイザー招聘事業等を活用した実践研修

スポーツ医科学の活用

- 高知県スポーツ科学センター（SSC）によるスポーツ医科学研修会の開催
 - ・医科学コーディネーター・サポーター研修会
 - ・トレーニング、コンディショニング指導のe-learning
 - ・SSC医科学サポートチームスタッフによる派遣指導

高知県スポーツ科学センター（SSC）によるスポーツ医科学サポートの強化

目的・主な役割

スポーツ現場において行われる、健康増進や競技力向上に向けた技術練習、トレーニングが、年齢、体力、競技特性等に応じて、合理的かつ効率的・効果的に行われるよう、スポーツ医科学の見地から様々なサポートを行う。

【主な役割】

- (1)パフォーマンス向上支援(体力測定・トレーニング指導等)
- (2)健康づくり支援(運動プログラムの提供等)
- (3)指導者やサポート人材の育成
- (4)スポーツ科学の研究
- (5)スポーツ医科学関連情報の発信・活用
- (6)スポーツ医科学地域拠点への支援

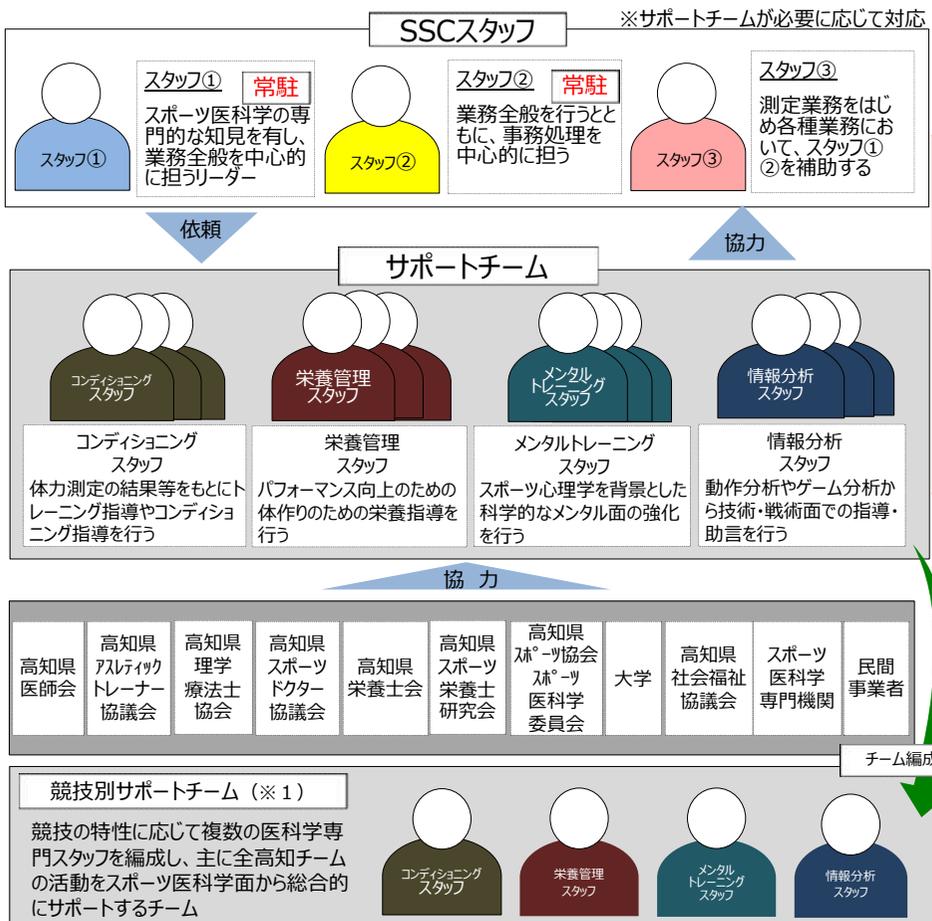
施設概要

- 所在地：高知市春野町芳原(県立春野総合運動公園体育館内)
- 面積：約360㎡
- 整備施設：測定スペース、更衣室(男女)、シャワー室(男女)、EV、事務室、トイレ(男女、多機能)、空調設備



運営体制

- 開館時間(利用時間) 9:00~18:00(原則) 毎月曜日休館
- スタッフ：センタースタッフ(3名) + サポートスタッフ



業務内容

1. パフォーマンス向上支援事業

健康づくりや競技力向上の実践に対するスポーツ医科学面からのサポート事業 ※下線はサポートチームスタッフ

対象者	内容	対応スタッフ
スポーツ愛好者	一般体力測定 身長・体重・肺活量や基本的な体力の測定	SSCスタッフ
アスリート	①メディカルチェック 医療機関による内科系・整形外科系の医学的検査	医療機関医師
	②専門体力測定 専門機器を活用して瞬発系や持久系などの体力の測定	SSCスタッフ
	③コンディショニングサポート 専門体力測定の結果等によるトレーニング・コンディショニング指導	SSCスタッフ コンディショニングスタッフ
	④栄養サポート 体づくりや体調管理のための栄養素の摂り方などの指導・助言	栄養管理スタッフ
	⑤メンタルサポート 専門指導者によるメンタルコントロールサポート	メンタルトレーニングスタッフ
	⑥動作分析 選手の基本技術の動作を映像で分析・指導	SSCスタッフ 情報分析スタッフ
	⑦ゲーム分析 チームや個人のゲーム中の動きをデータ化・映像化して分析・指導	情報分析スタッフ
全高知チーム	競技別サポートチーム(※1)により、上記②~⑦の内容を総合的にサポート	競技別サポートチーム(※1)

2. 研修・支援事業

スポーツ指導者やスポーツ拠点のスタッフの指導力向上のために行う出張指導や研修事業

内容	対応スタッフ
出前出張事業 スポーツ指導者や地域のスポーツ拠点のスタッフ等に対して、コンディショニング、栄養学、心理学等の知識や実践、効果的なトレーニング方法やスポーツ障害防止などについて指導	SSCスタッフ 外部講師
指導者等養成研修事業 競技別コーディネーター(※2) 医科学サポーター(※3)・指導者研修等の各種養成研修等	SSCスタッフ 外部講師

※2：各競技団体のスポーツ医科学担当者
※3：サポートチームのコンディショニングスタッフ

3. 研究・情報活用事業

高知県の実情に応じたスポーツ科学の研究やスポーツ医科学情報の収集・発信

内容	対応スタッフ
研究事業 高知県の実情に応じたスポーツ科学の研究・活用	SSCスタッフ
情報活用事業 各種スポーツ情報の発信 スポーツを通じた健康に関する情報の発信	SSCスタッフ

サポートの流れ

SSCスタッフ及び競技別サポートチームにより、一般利用者や各競技団体等とサポート内容や日程を確認・調整し、各種サポートを計画的に実施

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
スポーツ愛好者	一般体力測定 体力測定・運動指導(通年)											
アスリート	メディカルチェック	受診/結果のフィードバック										
	各種サポート	体力測定(1回目)測定結果の分析	シーズン中のトレーニング	栄養指導・メンタルサポート 動作分析・チーム分析	国体	体力測定(2回目)測定結果の分析	オフシーズンのトレーニング	栄養指導・メンタルサポート 動作分析・チーム分析				

目標/スポーツによる県外入込数

平成30年度実績 約9万人

令和2年度目標 12万人

令和4年度目標 14万人

令和2年度の取組

1 プロスポーツのキャンプや大会の誘致

本県の恵まれた自然環境や施設を生かし、プロスポーツのキャンプや大会を誘致することで、県民のスポーツに対する機運醸成を図る。あわせて、交流人口の拡大や地域経済の活性化につなげる。

(1) プロ野球

- ・県内施設における、NPB球団（埼玉西武ライオンズ、阪神タイガース、オリックス・バファローズ、千葉ロッテマリーンズ等）の春季、秋季キャンプ及びプレシーズンマッチの誘致
⇒高知県観光コンベンション協会との連携によるキャンプの継続と新規誘致先の開拓

(2) Jリーグ

- ・県立春野総合運動公園陸上競技場、球技場及び令和元年にグラウンドを改修した県立青少年センターにおけるJリーグチームのキャンプ誘致（アルビレックス新潟、徳島ヴォルティス、カターレ富山、カマタマーレ讃岐等）
⇒高知県観光コンベンション協会との連携による誘致活動

(3) プロゴルフ

- ・カシオワールドオープン、明治安田生命レディス ヨコハマタイヤゴルフトーナメントの継続開催



2 アマチュアスポーツの大会・合宿の誘致

県内スポーツ施設におけるアマチュアスポーツの合宿誘致や大会開催により、県外入込客数の増加を図る。あわせて、県外強豪チームを誘致し、県内選手の競技力向上につなげる。

(1) 高知県観光コンベンション協会と連携した合宿・大会の誘致

- ・高知県アマスポート合宿支援事業助成金を活用した合宿の誘致
- ・コンベンション開催支援助成金を活用した大会等の誘致

(2) 県スポーツ協会や競技団体と連携した県外強豪校やチームの合宿・大会誘致

- ・県内の競技力向上を目的とした県外強豪校やチームの合宿、大会の開催



3 高知龍馬マラソンの開催

スポーツを通じた健康づくりや県民のスポーツへの関心を高めることにより、生涯スポーツの一層の普及・振興を図る。また、魅力ある大会づくりにより、国内外からの入込客数の拡大につなげ、スポーツツーリズムの推進に寄与する。
⇒出走者数約12,000人規模を継続

(1) 安心・安全な大会づくり

(2) 魅力ある大会づくり

(3) FREE10をはじめとする 関連イベントの実施



4 自然環境を生かしたスポーツツーリズムの推進

本県の自然環境を生かしたスポーツアクティビティの活性化に向けて、環境整備やプロモーションを推進する。

(1) 自然環境を生かしたスポーツイベントの開催促進



(2) 関係機関や他県と連携したサイクリング観光の取組み強化

(3) 高知県推奨サイクリングコースのプロモーションの実施

(4) 県内サイクリングコースの環境整備の促進



5 その他

地元プロスポーツチーム等が県民にさらに親しまれるよう支援する。また、広域から誘客できる新たなスポーツ大会やイベントの開催を検討する。

(1) 県内プロスポーツ等への支援

- ・公式戦やイベントなどの広報活動の支援

(2) 新たなスポーツ大会やイベントの誘致、開催の検討

- ・今後のオリンピック追加競技やアーバンスポーツなど、新たなスポーツイベントの創出（BMX、スケートボード、パルクール、ブレイクダンス、3×3等）
⇒スポーツJAMフェスタでの開催 等

オリンピック・パラリンピック等を通じたスポーツの振興

目的

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を好機と捉え、参加国の事前合宿等の招致を通じた**機運の醸成を図るとともに、将来を担う子ども達が夢や希望を抱いてスポーツに取り組み、県民の誰もがスポーツに親しめる環境づくりや、地域の活性化につながる取り組みを行う。**

現状

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、チェコ共和国・シンガポールと事前合宿実施に向けた協議を進めるための覚書を締結（H30年4月）

今後の取り組みの方向性

- ①協定書締結国の事前合宿受入に向けた受入体制の構築や機運づくり
- ②レガシー構築に向けたホストタウン登録国との交流事業の充実

事前合宿の招致

事前合宿の招致活動を通じ、**県民のスポーツに対する意識（みる・する・ささえる）を高め、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運の醸成を図る。**

（事前合宿の期待する効果）

- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の**合宿招致の実現性の拡大**
- 世界トップレベルのスポーツを見る機会の創出による**競技力向上**（教育効果）や**スポーツ参加の拡大**
- スポーツによる健康志向や生きがいづくりによる**日本一の健康長寿県構想への寄与**
- 施設価値の増加による**施設利用の拡大**（合宿受入件数の増加や会員の増加 など）
- メディア等で取り上げられることでの**本県の認知度アップ**
- 合宿の見学や取材など県外からの来県者が生む**経済効果**



シンガポール 高知市・南国市

・チームシンガポール（バドミントン・水泳）の合宿受入

⇒指導者の指導力向上・競技力向上



・国立スポーツ学校とのスポーツ交流

⇒スポーツでの異文化理解の促進・競技力向上



・スポーツシンガポールとの連携

⇒競技者のサポート体制の充実（スポーツ医科学・トレーニング環境の情報交換）

キルギス共和国

・キルギス代表チーム合宿の招致

⇒指導者の指導力向上・競技力向上

チェコ共和国 須崎市

・チェコ代表チーム（カヌー・水泳・陸上競技）合宿の招致

⇒指導者の指導力向上・競技力向上



・チェコJrチーム（カヌー・ソフトボール）とのスポーツ交流

⇒スポーツでの異文化理解の促進・競技力の向上



・自然環境を生かした合宿地の情報発信

⇒スポーツツーリズムの推進

・オリンピックオフィシャルスポンサー等と連携した広報活動 等

⇒大会へ向けた機運の醸成・異文化理解の促進、受入体制充実

オランダ 宿毛市

・トップアスリートの県内自転車イベントへの参加

⇒スポーツツーリズムの推進・競技人口の拡大



・在蘭日本国大使館主催「日本語弁論大会」よさこい高知賞受賞者との交流

⇒国際交流（異文化理解の促進）

オーストラリア 須崎市

・女子Jrチームとのスポーツ交流

⇒スポーツを通じた異文化理解の促進・競技力向上
⇒スポーツツーリズムの推進



トンガ王国 高知市

・トンガ王国ラグビーチーム（7人制）の事前合宿受入

・トンガ王国出身選手によるラグビースクールの開催

⇒競技力向上・競技人口の拡大

ハンガリー 土佐町・本山町 須崎市

・在住ハンガリーカヌーコーチを通じたスポーツ交流

⇒競技力向上・スポーツツーリズムの推進

トリニダード・トバゴ 中土佐町

・トリニダード・トバゴ発祥の楽器を通じた文化交流